



果樹特報 No.3

令和6年4月17日
JA中野市営農センター
JA中野市りんご・もも部会

展葉期から黒星病の早期感染拡大が心配されます。散布は樹全体にしっかりかかるよう徹底してください。薬剤散布時は、温暖・無風の日を選び幹や枝に十分にかかるように散布しましょう。

(調査地区：平岡) *開花以降予想記載



2024 生育：発芽 4/2 展葉：4/10 (予想) 開花：4/26 頃 満開：4/30 頃 落花：5/5 頃

【定期散布】散布日

____月 ____日(____)

散布量

ℓ

【第3回 定期散布】

*散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

散布時期	開花期(4/26前後)ふじの花が1~2輪咲いた時期
散布薬剤	水 100ℓ 当たり 展着剤(ハイテンパワー) 10ml サムコルフロアブル 10 20ml (前日、3回) ユニックス顆粒水和剤 47 50g (14日前、4回)
対象病害虫	黒星病、(うどんこ病)、ケムシ類、ハマキムシ類
散布量	10a 当たり：500ℓ
注意事項	①【黒星病対策強化】昨年、黒星病の発生が多かった園地はユニックス顆粒水和剤に代えて、ミギワ 20 フロアブルの4,000倍(前日、3回)を使用する。 ②【赤星病対策】スコア顆粒水和剤の3,000倍(14日前、3回)を加用する。

【ふじの人工授粉のポイント】*交雑和合性は裏面参照

- 人工授粉を実施する時は、気温・湿度・天候等の授粉環境を複合的に考慮する。
⇒ 降雨・強風・極端な低温(最高気温20℃以下)・極端な高温(30℃以上)の日はできるだけ避ける。
- 開花始めから満開期までが授粉能力が高い ⇒ 開花始めから満開までの早い時期に実施すると結実率が高まる。

次面もご覧ください。
(第4回定期散布記載)

次回発行予定

5/2(木)

